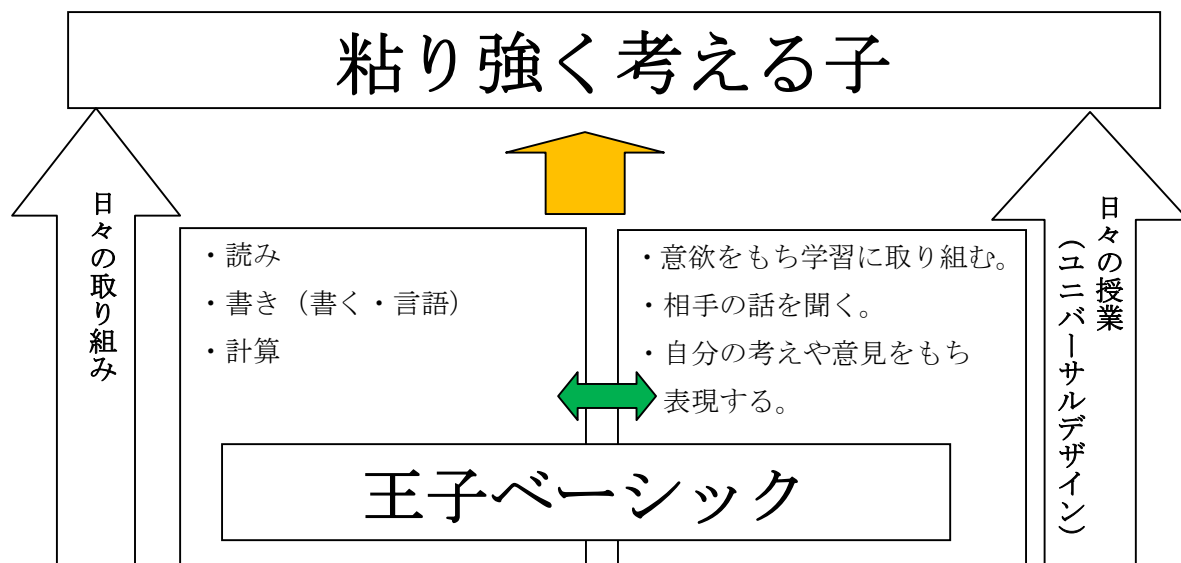


「粘り強く取り組む子」の基盤となる力

王子ベーシック

王子ベーシックとは、読み書き計算のみならず、意欲をもって学習に取り組む、相手の話を聞く、自分の考えや意見をもち表現する態度を含むもの、と考える。

この王子ベーシックは、日々の取り組みとユニバーサルデザインの授業を通して培うものとする。そして、これらの学習の基礎体力をつけ粘り強く考える子の育成を目指す。



この王子ベーシックをもとに「粘り強く考える子」の育成を目指す。

【日々の取り組み】

	計算
1年	繰り上がりのある足し算・引き算の混合計算が2分で10問解ける。
2年	九九81問が10分間で81問解ける。 100マス計算（足し算・引き算）が10分で解ける。
3年	100マス計算（足し算・引き算・掛け算）が8分で解ける。 割り算（商が1位数）の計算が5分で50問解ける。
4年	掛け算の筆算ができる。【3桁×2桁】5分で10問 割り算（商が1位数であまりあり）の計算が5分で50問とける。
5年	割り算の筆算ができる。【3桁÷2桁】5分で10問 割り算（商が1位数であまりあり）の計算が5分で50問とける。
6年	小数・分数の四則計算ができる。5分で10問 割り算（商が1位数であまりあり）の計算が4分で50問とける。

	音読
1年	1分間で200字程度の文章を読むことができる。 つまずかずに読むことができる。
2年	1分間で250字程度の文章を読むことができる。 句読点に気をつけて、つまずかずに読むことができる。
3年	1分間で300字程度の文章を読むことができる。 会話文を工夫して読むことができる。
4年	1分間で350字程度の文章を読むことができる。 会話文を登場人物の気持ちに合わせて読むことができる。
5年	1分間で350字程度の文章を読むことができる。 地の文、会話文の違いを意識して読むことができる。
6年	1分間で350字程度の文章を読むことができる。 登場人物の心情を考えながら工夫して読むことができる。

	言語
1年	ひらがな・カタカナが読め、書ける。 新出漢字(80文字)の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。 長音、拗音、促音などの表記ができる。 助詞の「は」「へ」「を」を文の中で正しく使うことができる。
2年	新出漢字(160文字)の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。 主語、述語の関係が分かる。
3年	新出漢字(200文字)の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。 ことわざの意味を知り、使うことができる。 国語辞典を使うことができる。 指示語、接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割が分かる。 ローマ字の清音が読める、書ける。
4年	新出漢字(202文字)の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。 漢和辞典を使うことができる。修飾語、被修飾語の関係が分かる。 慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。 ローマ字を適切に読み、書くことができる。
5年	新出漢字(193文字)の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。 *～たり、～たりする。など【並列で書く際に用いる表現】 *接続助詞【並列、逆接など】
6年	小学校で習った漢字の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。(1026文字)

今年度の取り組み

評価基準について

- ① 言語の中のひらがな・ローマ字・漢字
- ② 音読（1分間に〇〇字を読む）＊国語の授業で学習しているもの
- ③ 計算（〇分間に◆◆算を△△問解く。
- ④ 2～5年においても前学年の漢字プリントを100点にする。

- ・評価用プリントを活用する。

各学年で漢字50問テスト 4枚

＊計算においては、印刷室やネットなどにあるプリントを活用。

- ・「漢字・音読・計算」に取り組む時間

朝学の時間の5分を使う。

月曜 の朝8：30～35の5分間は読書時間。

火曜～金曜の朝8：30～35の5分間は学習時間。

ただし、朝の会が早く終わり次第学習に取り組んでもよい。

8：35～8：40の時間は、原則次の授業の準備の時間。

1学期末・2学期末・3学期末にも集計をし、100パーセント達成を目指す。

王子ベーシック集計表に打ち込み

Ex) 漢字 到達人数／学級の児童数 ⇒ 〇〇%